

事務事業名	企業チャレンジ推進事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	チャレンジ創生G
	施策名	〈01〉市民が主役のまちづくりの推進		担当者名	松蔭 佳子
	目的: 対 象	市民	意 図	まちづくりの課題を主体的に解決する。	
	基本事業名	〈002〉まちづくりの人材確保		電話番号	0854-40-1011
目的: 対 象	市民	意 図	地域社会の担い手になる。		(内線) 2332
予算科目	会計	款	大事業	大事業	企業総務管理事業
	0	1	1	0	0
	0	5	3	5	2
					企業チャレンジ推進事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( R元 年度～ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・社会課題の解決をめざす企業等を誘致し、地域自主組織や市内事業者等とともに、地域課題解決に資する新たな事業創出を図る。
・企業チャレンジを推進するための人材を配置し、具体的な事業案件(事業モデル)づくりと、企業チャレンジの制度設計の具体化(地域とのマッチングの方法、企業からの資金・人材拠出のルールづくり等)を進める。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) ・企業との連携協定の締結(竹中工務店、ヤマハ発動機、ETIC、ヒトカラムメディア、LIFULL FaM) ・各企業の事業案件サポート ・企業等からの問い合わせ、視察対応 ・企業の社員研修の受入れ ・企業チャレンジ推進連絡会の開催	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) ・企業との連携協定の締結 ・各企業の事業案件サポート ・企業等からの問い合わせ、視察対応 ・企業の社員研修の受入れ ・企業チャレンジ推進連絡会の開催				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	企業の現地視察受入件数	件			33	30
イ	実証事業の実施件数	件			4	8
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	①地域自主組織、市民 ②市内外の企業	ア 企業の現地視察受入件数	件			33	30
		イ 企業と連携・協働した地域自主組織数	団体			6	10
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	①企業と連携・協働して地域課題解決に取り組む ②社会課題を解決する新事業を開発する	ア 連携協定を締結した企業数	件			5	8
		イ 社会実装件数(実証事業を経て、新たに地域にサービス提供)	件			0	2
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
旅費 223千円 消耗品費 27千円 修繕費 48千円 保険料 65千円 委託料 3,600千円 負担金(地域おこし企業人) 3,500千円	財源内訳	千円			1,800	1,072
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円			2,163	1,478
	一般財源	千円			3,500	5,600
	事業費計(A)	千円			7,463	8,150
	人件費	人			2	
	正規職員従事人数	人			200	
	延べ業務時間	時間			848	
	人件費計(B)	千円			848	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			8,311	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどうか変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
R元年度新規実施	R元年度新規実施	地域自主組織の関係者からは企業との連携に前向きな意見をいただいている。

### 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない    理由	・実証事業案件を増やし、地域自主組織に成果イメージを持ってもらうことで、多地域での事業展開を目指していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有    理由	地方創生の柱として取り組む事業であるため。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある    * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない    理由	類似事業はないため、統廃合は出来ない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	最小限の予算配置により取り組んでいる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない    理由	必要な人員体制により取り組んでおり、削減余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である    理由	地域自主組織連絡協議会に情報共有し、取組を進めている。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 5社の企業と連携協定を締結し、実証事業に取り組んでいるほか、33社が関心を持ち本市を訪れ、そのうち半数が雲南での取組を検討していただいている。 実証事業の実施により、市民理解も少しずつ広がっている。

### 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
・引き続き、地域自主組織と連携を深め、実証事業の実施や新規案件の組成を図っていく。 ・企業チャレンジの支援パッケージ(資金調達や人材確保支援)を検討し、関心のある企業の誘致を進める。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																						